

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

北海道の印刷

2011
9

第664号(平成23年9月)

発行/平成23年9月10日

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目

TEL(011)562-6070

FAX(011)562-6072

URL: <http://www.print.or.jp>

E-mail: info@print.or.jp

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会、北海道印刷工業組合設立70周年記念事業—3~13・17

北海道印刷工業組合設立70周年記念表彰—————14

北海道印刷工業組合員物故者—————15~17

印刷産業経営羅針盤セミナー案内—————18

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会 8月5日(金)~7日(日)



第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会本大会・組合設立70周年記念式典

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会

「未来」を見つめ、「いま」を刷る～心をつなぐ未来の印刷

「印刷の神様 有り難う！」

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会実行委員長 松井 丈
副理事長・オホーツク支部長

株式会社北研社代表取締役社長

8月5日から7日まで第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会が開催されました。日々のお仕事の大変な中にもかかわらず、全道各地から大勢の皆様にお越し頂きました。

水上光啓全印工連会長曰く、真面目な方ばかりです。本当に感謝申し上げます。みんなで苦労した甲斐があって、喜びと安堵感で言葉になりません。以下、本大会での挨拶を記載してお礼に代えます。

「皆さま、8月のさわやかな網走へようこそお越し下さいました。皆様とお逢いできることを一日千秋の想いでお待ちをしていました。3月の震災以来、紆余曲折を経ましたが、何とか開催にこぎ着け、大勢の皆さんの笑顔を見ることが出来ました。感謝に堪えません。心より厚く御礼申し上げます。

昨年レコード大賞優秀作品賞および作詞賞を取りましたのは、トイレの神様でしたが、印刷の神様もやはりいらっしゃる、私達に微笑んで下さっているのだと今、この場に立ち、確信をしています。

5カ月前、とてつもない災害に、いきなりおそわれた東北の印刷業界を始め多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。被災された方々の苦しみは、どれほど想いを尽くしてもなお届き得ないほどの凄まじいものであらうと思われまます。

こういう時は、人の愚かさ、醜さも顕わになるものです。残念ながら印刷業界でも一部見られました。しかし、それを優に越えて、全国の印刷工業組合の仲間達が支援に立ち上がりました。本大会でも、全国の印刷関連業有志による『ACT FOR JAPAN』の災害復興支援プロジェクトに協力させて頂きました。改めて、人間の強さ、美しさ、そして組合活動の意義・素晴らしさを考えざるを得ません。

結びに、北海道印刷工業組合と参加企業と関連業の皆様方の更なる飛躍のために、本日は、オホーツクの風を感じながら、親睦と交流を深め研鑽を重ねられますようお祈りして歓迎の挨拶と致します」

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会・北海道印刷工業組合設立70周年記念事業が盛大に開催

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会ならびに北海道印刷工業組合設立70周年記念事業が8月5日・6日・7日の3日間、網走市で「未来」を見つめ、「いま」を刷る～心をつなぐ未来の印刷をテーマに、来賓、組合員、関連業者250余人が参加し、網走セントラルホテルをメイン会場に開催された。情報・印刷文化典のオホーツク支部での開催は18年振り3回目の開催となるが網走市での開催は初めてである。

5日の記念ゴルフ大会、6日の記念講演会、本大会・記念式典、記念パーティー・記念祝賀会、7日のパークゴルフ大会と併催行事として第4回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション入賞作品展、第52回全国カタログ・ポスター展入賞作品展、2011年第52回全国カレンダー展入賞作品展が開催された。

次回、平成26年の第30回北海道情報・印刷文化典は53年振りに札幌支部の主管で開催される。

記念講演会

記念講演会は、8月6日午後1時15分から網走セントラルホテル2階の瑞雲で行われた。

講師に全日本印刷工業組合連合会の水上市光啓会長を迎え、「大変革の時代を乗り切る 印刷

経営とは」をテーマに行われた。

講演に先立ち、須摩耀夫本大会委員長が、「オホーツク大会・設立70周年記念事業の口火を切る記念講演会を開催する。示唆に富んだ内容の講演になると思うので期待してください」と開催あいさつを述べた。

講演に移り、水上市会長は、

土曜日に勉強のために集まる印刷人は真面目であると前置し、他社との差別化の重要性を指摘し、「お客さまが発注してくれる要素はQ（クオリティ）、P（プライス）、S（サービス）の3つで、こだわりたいのはサービスだ。クオリティ、プライスの差別化は非常に難しく、サービスの差別化しかない。どこまできめ細かく、どこまで深くするかが勝負であり、真剣に考えてほしい。最後の差別化は企業文化で、企業の新しい風土を作らなくてはならない。そのためには営業戦略、生産戦略、情報戦略の3つを掛け合わせなくてはならない。業態変革を実践して深められる企業が勝ち残る。厳しい環境にあるが、印刷業界はまだまだ大きなビジネスチャンス、大きな希望がある。つかむために一緒に頑張っていこう」と呼び掛けた。

（講演内容は次号に掲載）



開会あいさつを行う
須摩耀夫本大会委員長

本大会・設立70周年記念式典

本大会・設立70周年記念式典は、午後2時30分から網走セントラルホテル2階の瑞雲で行われた。



開会宣言を行う藤澤利光副実行委員長

藤澤利光副実行委員長の「このようにたくさんの方々がオホーツクの空と海の網走にお越しをいただき誠にありがたい。我々オホーツク支部一堂、大歓迎する。昨日と今日そして明日の3日間が皆様にとって素晴らしい時間をなることを祈念し、只今より第29回

北海道情報・印刷文化典オホーツク大会本大会ならびに北海道印刷工業組合設立70周年記念式典の開会を宣言する」と開会宣言を行った。

次に、昭和15年の組合設立からこれまでに逝去された組合員325人と3月に発生した東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を祈り黙祷を捧げた。



印刷産業人綱領唱和を行う伊藤正人実行委員

次に、実行委員の伊藤正人氏の先導により印刷産業人綱領の唱和が行われた。

つづいて、松井丈実行委員長が、「8月の爽やかな網走へようこそ。皆様とお会いできることを一日千秋の想いで待っていた。3月の震災以来、紆余曲折を経たが何とかこの大会に漕ぎ着け大勢の皆様の笑顔をみる

ことができた。昨年、レコード大賞優秀作品賞および作詞賞を取ったのはトイレの神様であったが、印刷の神様はやはりいる。私たちに



歓迎あいさつを述べる松井丈実行委員長

微笑んでくれているのだと今この場に立ち確信をしている。5カ月前にとてつもない被害にいきなり襲われた東北の印刷業界をはじめ多くの方々に心からお見舞いを申し上げたい。被災された方々の苦しみはどれほど思いを尽くしてもなお届き得ないほどのすさまじいものであろうと思う。こういうときは残念ながら人の愚かさ醜さもあらわになるものである。印刷業界でも一部そんな動きが見られた。それを優に超えて全国の印刷工業組合の仲間達が支援に立ち上がった。本大会でも全国の印刷関連業有志によるACT FOR JAPANの災害復興支援プロジェクトに協力をさせていただいている。改めて人間の強さ美しさそして組合活動の意義、素晴らしさを感じる場所である。結びになるが、北海道印刷工業組合とその傘下企業の皆様そして参集の関連業の皆様のさらなる飛躍のために本日は、このオホーツクの風を感じながら親睦と交流を深め、そして研鑽を重ねられるように祈る」と歓迎の挨拶を述べた。



式辞を述べる岡部康彦大会長

次に、来賓・関連業界の紹介が行われ後、参加支部組合員の紹介が行われ、岡部大会長が、来賓、関連業、組合員に参加のお礼を述べた後、「振り返ると2008年の十勝大会で次回の開催地をオホーツク支部の主管で行うことを発表し3年後の再会を誓い合ったあの熱気あふれた雰囲気はまだ昨日のように思われてならない。今日、この母なるオホーツクの海に抱

かれ湖と森の美しい自然に囲まれた網走市で開催できることはこのうえない幸せと光栄である。今年、「未来」を見つめ「いま」を刷る～心をつなぐ未来の印刷をテーマに印刷に関わる仲間がこの網走の地に集い、語り合い、懇親を深め、たくさんの情報交換をする文化典として大変意義深い大会になると確信している。景気回復が依然として見られないなか、印刷需要の減少、また当組合員も大きく減少している。このような状況の中、将来の印刷業界を担う若い人達が業態変革実践プラン、ワンストップサービスで収益拡大を、ソリューションプロバイダーへの進化、経常利益率5%アップを目指す計画、見える化から始める改善と環境対応など夢と希望を持てる事業を積極的に立案し、提案もされている。そして成功した会社の事例集も冊子となって発行されている。私達はおお客様の立場に立って有益な印刷物・サービスの供給に努め、今後、印刷産業が情報価値創造産業へと変革するよう頑張る努力していこうではないか。本日、組合設立70周年記念事業を同時開催させていただく。当組合は昭和15年に設立以来昨年70周年を迎えた。この先達の築かれた偉業と伝統を後世に引き継ぐことは我々の責務である。長年にわたって業界の振興・発展に貢献され組合設立70周年記念表彰を受けられる9人の皆様、長年にわたって企業の発展に尽力され永年勤続優良従業員表彰を受けられる34人の皆様に心よりお祝いを申し上げます。3月に発生した東日本大震災の1日も早い復興をお祈りし、ささやかではあるが本文化典を通じて支援の協力をさせてもらうことになっている。最後になるが、本文化典の開催準備と運営のため長い期間尽力をいただいた松井支部長をはじめ役員の方々、組合員の方々に心より厚く御礼を申し上げます」と式辞が述べられた。



友田正敏北海道経済産業局地域経済部長

次に、来賓祝辞に移り、和田修一北海道経済産業局長（友田正敏地域経済部長代読）が、「北海道印刷工業組合設立70周年を迎え、第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会が多くの皆様の参加のもと盛大に開かれることを先ずお祝いを申し上げます。今日この大会の中で各表彰を受賞される皆様に心からお祝

いを申し上げる。道内経済は東日本大震災の影響からやっと回復基調にきている。ただ大変な円高のせいで輸出産業を中心にまだ立ち直れていない。経済産業省では今年度の補正予算、先般の震災対策の1次の補正予算、先般作った2重ローン対策を中心とした2次補正等々、これから3次補正も考えている、震災対策中心にいろいろな支援を凶ってきた。印刷産業は国民生活にとって、さまざまな分野にとって大変重要な役割を果たしている産業である。この震災においてもその重要性が国民に広く再認識されたところではないかと思っている。他方、印刷業界を取り巻く環境は大変に厳しい状況にある。マスメディアの多様化、市場規模の縮小等々、皆さんを取り巻く環境はますます厳しくなっている。こういうなか北海道印刷工業組合におかれては昨年、全日本印刷工業組合連合会が作られた産業成長戦略2010によって、ソリューションプロバイダーへの一環として業態変革実践プランのセミナー、経営改善のための研修等、各種事業を積極的に実施をされている。今後ともさらなる業態改善のため、組合員、関連の皆様、業種、地域を越えて一致協力をされ北海道の印刷業活性化のみならず北海道全体の経済の活性化に貢献されることを期待している。本大会において是非活発な意見の交換をされ、本日参会の皆様にとって大変意義の深い会となるとともに北海道印刷工業組合のますますの発展を祈念する」と述べた。



有好利典オホーツク総合振興局長

高橋はるみ北海道知事（有好利典オホーツク総合振興局長代読）は、「本日、第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会が多くの皆様の参加のもと盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。3月に発生した震災から既に5カ月が経過しようとしているが復興の目途はまだ見えず、国内の景気も大きな改善が見られない状況にある。本道においては太平洋側を中心に直接的な被害があったが、間接的な被害として東アジアを中心とした旅行者が大幅に減少しており観光関連産業を中心に未だに大きな影響を受けている状況である。しかしながら北海道は豊かな農林水産資源に恵まれた地域であり道としてはこのように豊かな地域資源

をはじめとした本道の優位性を活かし食や観光などの成長産業を磨き上げ、経済の活性化に取り組んでいく。昨年設立70周年を迎えられた印刷工業組合におかれては設立以来、時代に対応した様々な取り組みが行われ、近年は業態変革の推進に取り組みられるなど積極的な活動を展開していると伺っている。現代の情報化社会において印刷産業が担う役割は大変重要であり、今後とも情報を受け取る方々のニーズに極め細やかに対応され北海道や地域の情報を積極的に発信していくことを期待している」と述べた。



水谷洋一網走市長

水谷洋一網走市長は、「ようこそ冷涼な地網走にお越しをいただき市民を代表して歓迎を申し上げます。第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会ならびに組合設立70周年記念事業をこの網走市において開催されることに心からお祝いを申し上げます。3月11日の震災以降被災地はもとより全国各地でさまざまな影響がでていよう、印刷業界の皆様におかれても用紙やインキが足りないといったようなことを伺っている。原油の高騰などにより主要材料の価格が高騰しているということで大変経営が厳しい状況であるということも伺っている。そうしたなかで網走で大会の運びになったことに対して組合員の皆様の熱意と関係各位の尽力の賜と心から敬意と感謝を申し上げます。北海道印刷工業組合におかれては従来の印刷製造物というハードのビジネスから情報加工、ビジネスコンテンツといったソフトビジネスの形の中で各種勉強会や相談窓口を設置して現代社会に適應した企業、業界を目指して研鑽を重ねているということも伺っている。近年の急速なIT化の進展と普及に伴い情報産業のデジタル化とともに高度化が加速し、それに対応したスピードが必要になってくると思う。こうした課題に対応するため本日参会の皆様におかれては本大会の成果を活かして今後の印刷業界の振興と発展に寄与することを願って止まない」と述べた。

水上光啓全日本印刷工業組合連合会会長は、「本日はこの地において第29回北海道情報・印刷文化典ならびに北海道印刷工業組合70周年記念式典が開催されることを心からお祝いを申し上げます。私達の先人、組合の役員そして組合員



水上光啓全日本印刷工業組合連合会会長

の皆様方、その努力の賜だと思う。私達印刷業も今非常に厳しい状況になっている。言うまでもなく震災、津波、原発さらに諸資材の値上げ、ダブルパンチどころではないパンチを4つももらっている。そのようななかにおいて、本当の組合の意義は何か改めて考えさせられた。私は組合というのは1人で開けられない扉を皆の力を合わせて開けるところだと思う。では扉を開けたときに何が出てくるのか。情報が出て来る。これが最大の扉から出てくる必要なものである。今私達が必要なものは情報だと思う。もしも組合に入っていなかったらこの情報は出てこない。是非、組合員の皆様と一緒に扉を開けよう。そして情報を活用してほしい。私は常々3つのことを言っている。連帯、対外窓口、共済という組合の機能を言ってきた。今回震災にあたり義援金をお願いした。1億円に近い義援金を集めることができた。これは金額の大小ではない。皆さんの仲間を思う気持ちの大小だと思う。改めてこの場を借りて感謝を申し上げます。対外窓口として3月なので非常に期末が近い、役所の決算も近い、そのようななかで組合ができること、いろいろと折衝をしなければならぬ。まとめて折衝をする役割、対外窓口としての組合の役割を改めて認識をした。共済、ある意味では保険で、皆で入ることによって安くしようということである。このような機能をこれからもさらに活かしていきたい。普段はあまり組合の存在が理解されていない。組合は、共済といったが保険ではなく、本当に保険という存在のような気がしてならない。存在を意識しない。しかし、事、起こったときに皆さんの立場にたって皆さんと一緒に問題を解決していく。そのような努力をして行くのが組合の役割だと思っている。是非これからもたくさんの難問を抱えると思うが一緒に解決をしていこうではないか。今回の大会のキャッチフレーズの中に「未来」という言葉が2つ出てきた。大変すばらしいことだと思う。北海道の皆さんは未来を意識している。今、日本経済は大変厳しい。しかし、厳しいだけではなくて新たな経済の体系、新たな価値の体系を模索してそのような状況にあると思う。しかし、それ

は決して簡単ではない。当然従来の経済の体系、従来の価値の体系ももはや通用しない。私達印刷も同じような気がしてならない。そのようななかで私は必要なことは1つだと思う。まさに想像、クリエイティブで柔軟な思考と行動、この一言ではないかと思う。今まで私達は過去をベースに現在を考えればビジネスを展開することができた。しかし、今これからは現在をベースに未来を考えなければビジネスを展開することができない。まさにこの大会の未来という言葉、そこに大きく込められていると思う。是非、これからは現在をベースに未来をチャレンジするのだという意識を持って業態変革を進めていこう」と述べた。

祝電披露が行われた後、本組合並びに本道印刷業界の振興・発展に貢献のあった9人の組合設立70周年記念表彰が行われた。

経済産業省北海道経済産業局長表彰状が岸洋氏、北海道知事感謝状が則末尚大氏、西山恒夫氏、角鎮夫氏、飯村俊幸氏の4人、北海道中小企業団体中央会会長表彰状が浅間典泰氏、吉田政司氏の2人、全日本印刷工業組合連合会会長表彰状が吉田正治氏、佐々木敦氏の2人に贈られた。

つづいて、永年勤続優良従業員表彰が行われ、30年以上勤続者14人、20年以上勤続者7人、10年以上勤続者13人を代表して、関井朗氏（㈱あいわプリント・30年以上勤続）、芳賀信彰氏（㈱小林印刷・20年以上勤続）、小野京子氏（㈱坂井印刷・10年以上勤続）に岡部理事長から表彰状と記念品が贈られた。



永年勤続優良従業員表彰

受賞者を代表して、知事感謝状を受けた西山恒夫氏から「今日は、栄誉ある賞を頂戴し、誠にありがとうございます。身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。私は、平成4年に理事に就任以来、常任理事、副理事長そして札幌



受賞代表謝辞を述べた西山恒夫氏

札幌支部長を含めて16年間、皆様のご指導ご鞭撻をいただき勉強をすることができた。私は、北海道印刷工業組合に加入し、さまざまな活動を通して、全道、全国の多くの同業の皆様と知り合い、情報交換をし、親交が持つことができた。これは私の大きな財産である。

今、改めて北海道印刷工業組合の活動のすばらしさと大切さを実感している。北海道印刷工業組合は設立70周年を迎えたが、これからも全力を尽くして前進していくものと大いに期待している。今日は、すばらしい賞を頂戴したが、これに恥じないよう企業経営に全力を注ぐとともに業界の振興発展のため、微力ながらもお手伝いさせていただければと思っている」と謝辞が述べられた。

つづいて、意見発表に移り、「旭川支部の組合活動」のテーマで旭川支部長の谷川徹氏から、「札幌市の現状」のテーマで札幌副支部長の福島博志氏の2人から官公庁の印刷受注を中心に発表が行われた。



文化典宣言を行う高橋裕一実行委員

次に、実行委員の高橋裕一氏から、「英知と情熱を結集して、弛みない研鑽を重ね、業態変革を成し遂げ、情報価値創造産業の使命を果たし、有益な印刷製品・サービスの供給に努め、国民生活および文化の向上を支える産業としてさらなる発展を期し、一致団結して邁進する」という第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択された。

次に、平成26年の第30回北海道情報・印刷文化典の開催地を岡部理事長から札幌支部と発表され、札幌支部の皆様が「次は札幌で会いましょう」の横断幕を持って登壇し、大会鍵が松井オホーツク支部長から岡部理事長へ、そして板倉札幌支部長へと引き継がれた。

板倉清札幌支部長が「実のある大会を目の前にして私も本当に嬉しく思う。3年に1度の大会、皆様と一緒にテーマを考えて意志の統一を図られる大会であると改めて認識した。3年後、

文 化 典 宣 言

印刷産業は、加速する情報化の進展、グローバル化、少子高齢化、消費者ニーズの多様化などにより市場環境や技術動向が大きく変化し、的確な対応が求められ、構造転換期にある。

こうした難局に対応し、生き抜き、先達の努力で築き上げてきた印刷文化を後世に引き継ぐため、業態変革を実践、継続、定着していかなければならない。

ここに我々印刷産業人は、「未来」を見つめ、「いま」を刷る〜心をつなぐ未来の印刷”のテーマのもと、母なるオ

ホーツクの海に抱かれ、湖と森の美しい自然に囲まれた網走市に集い、英知と情熱を結集して、弛みない研鑽を重ね、業態変革を成し遂げ、情報価値創造産業の使命を果たし、有益な印刷製品・サービスの供給に努め、国民生活および文化の向上を支える産業としてさらなる発展を期し、一致団結し邁進することを宣言する。

平成23年8月6日

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会



次期開催地あいさつを述べる板倉清札幌支部長

大会は30回を迎える。スピーディな業態変革を推進し明るい業界を目指そう。これをスローガンに札幌で開催する。家族の皆様、従業員の皆様そして今この会場の皆様、是非3年後全員で札幌にお集まりいただき札幌大会を大札幌大会と名付けて皆様を歓迎したい」と述べた。



閉会宣言を述べる新沼透実行委員

新沼透実行委員が「オホーツクブルー輝くここ網走の地で第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会本大会、北海道印刷工業組合設立70周年記念式典の全て式次第を了した。我々印刷産業人、業態変革を推し進め、地域のプロデューサーたらんことをここに決意新たにしたいと思う。そしてまた3年後の再会を皆様とともに約しながら本会を閉会する」と閉会宣言を行い、第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会本大会ならびに北海道印刷工業組合設立70周年記念式典を終了した。



会場一杯の参加者の皆さん

このあと、「北海道開拓の歴史探訪」として、網走監獄の見学が行われた。

意見発表

第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会本大会で、旭川支部と札幌支部の2支部から意見発表が行われた。

それぞれの支部の意見発表の要旨は次のとおり。

旭川支部

「旭川支部の組合活動」

発表者 支部長 谷川 徹氏

旭川は現在二重構造になっている。私達の先達がやってきた旭川印刷製本工業協同組合という組織と北海道印刷工業組合旭川支部の2本立てになっている。現在は北印工の会計の一本化



谷川 敬氏

によって旭川支部は旭川の協同組合の1つの部門にしかなくない。単純に賦課金を集めそれ北印工組に送るだけの組織である。旭川印刷製本工業協同組合は法人格を持っているので官公庁への入札の資格を持っている。これが非常に大きな意味を持っている。これが旭川の一番の強みだと確信している。それを利用して市に対する要望なども積極的にいき、3年前に定額給付金にかかる印刷物を旭川印刷製本工業協同組合で受注することができた。印刷製本は我々の組合、もうひとつ旭川情報産業事業協同組合がありそちらは個人情報プリントアウトして封入封緘するという業務の2つに分かれて、旭川印刷製本工業協同組合が初めて収益をあげた事業の始まりである。そのあと、女性特有の癌のクーポン券およびそれに関わる発送業務を隋契で5年間受けた。これも我々組合にとって大きな力というか生きがいというか、動きに活発性を得た。初年度は役所から預かった個人データをどうプリントアウトしたら良いか悩みもあったが、旭川の組合の皆さんに力をもらって無事に1年目を終わった。それによって役所との連携は非常に強くなり、信頼関係が強くなった。今年6月に3年目が終了して後2年ある。1年間の純利益で組合に落ちる額が100万円余ある。担当した組合員の皆さんには普通の印刷発注より25%くらい良い思いで仕事をしてもらっているのではないかと。今同じ部署から大腸癌の話がある。これも決まれば5年間である。これによって旭川の組合は毎年100~200万円の利益を上げる事業組合になった。これによって今は活性化とか楽しみを持ちながら組合活動ができています。あともう1点、旭川市民広報がある。これが10年以上前は我々の業界が担当して仕事をしてきた。ただどこからかD広告代理店が全部一括してそれをさらって行って、我々業界に落とす仕事は印刷製本のみで広告代理店からの押し付けである。そのなかで仕事をせざるを得ないということで約10年以上冷や飯を食べながら、組合員の業者が受けていなかった。それを昨年、市議会議員にも動いてもらい、今年の3月入札がありデザイン部門と印刷製本部門を分けて発注がされた。デザイン部門は昨年同様D

広告代理店が1年間の契約で受けた。印刷製本業務は上期・下期に分けて印刷業者に依頼された。上期は非組合員の会社、下期は協同組合の組合員企業が受注できた。仲間意識が非常に強く、どうしてもこれを取らなければならないという意識が過去何年か続いた。恨みを晴らして漸く嬉しい報告ができるのが今の旭川の状況である。旭川はどうしても代理店が強いというのではなく、印刷業の仕事にまで手を入れないと食べていけない。受けたものは市内の業者にこの金額でという発注であった。そのようなかで受けざるを得ない組合員は非常に辛い思いをしていた。それを何とか解放しようというのがこのたびの動きである。

札幌支部

「札幌市の現状」

発表者 副支部長 福島博志氏



福島博志氏

札幌市に提出した要望書について話をします。2000年頃から札幌市の印刷の受注が前年の半値を切るという状況であった。2009年8月に札幌商工会議所の役員をしていた西山元札幌支部長の尽力で札幌商工会議所を巻き込んで北海道印刷工業組合札幌支部と連携して札幌市に要望書を提出した。要望書は最低制限価格を設けてほしい。適正な利益が出ないということで税金も払えないので何とかお願いしたい。もう1つは札幌市に本店を置く会社に優先発注をしてほしいということである。本店が札幌にあると札幌に市税が落ちるので札幌市に寄与しているということで札幌市に本店のある企業に優先発注してほしいということである。もう1つは地元産業振興の雇用と納税をするために札幌市の協力支援をお願いしたいという3点について要望書を提出した。行政に物申すのは非常に気が引けるが印刷工業組合と札幌商工会議所が連名で提出したということで少なからず何とか要望に応じてくれている。一昨年のものであるので予算が無いということで戻りつつあるが、今後も商工会議所ばかりでなく他の団体も加えて交渉を続けていく予定である。他の支部もダンピングなど問題があったら各商工会、商工会議所、団体等を巻き込んでやったら良いと思う。

永年勤続優良従業員表彰

〔30年以上勤続〕

(旭川支部)

関井朗 (株あいわプリント)、荻野善美 (同)
(オホーツク支部)

村田忠守 (株小林印刷)、白間平男 (株坂井印刷)、藤井実 (須摩印刷株)、玉置穰滋 (同)、横川照記 (株北海印刷)、加賀谷巡 (同)、木村敏則 (株北海民友新聞社)、向畑信子 (株北研社)、上野昌子 (横田印刷株)

(札幌支部)

小林繁雄 (中西印刷株)

(十勝支部)

藤原芙美子 (株弘文堂印刷)、渡辺道子 (同)

〔20年以上勤続〕

(オホーツク支部)

芳賀信彰 (株小林印刷)、永澤儀倫 (株坂井印刷)、大西孝明 (株北海印刷)、石川新一 (株北研社)、越野めぐみ (横田印刷株)

(十勝支部)

小林由香 (株弘文堂印刷)、阿部かつ子 (同)

〔10年以上勤続〕

(旭川支部)

山本美知子 (中村印刷株)、小山鉄雄 (同)、関秀昭 (同)、山田豊 (同)

(オホーツク支部)

古澤大尚 (株小林印刷)、小野京子 (株坂井印刷)、菊地忍 (須摩印刷株)、今井貴士 (株北海印刷)、中村実 (株北研社)、藤田みゆき (横田印刷株)

(札幌支部)

甲斐真史 (中西印刷株)、石水学 (同)、成澤喜子 (同)

記念パーティー・記念祝賀会

記念パーティー・記念祝賀会は、8月6日午後6時30分から網走セントラルホテル2階の鳳凰で180人が出席して開催された。

松井丈オホーツク支部長が「皆さんよく知っている詩であるが、朗読させてもらう。あなたの〈こころ〉はどんな形ですかとひとに聞かれても答えようがない自分にも他人にも〈こころ〉は見えないけれどほんとうに見えないのであろうか確かに〈こころ〉はだれにも見えないけれど〈こころづかい〉は見えるのだそれは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えないけれど〈思いやり〉はだれにでも見えるそれも人に対する積極的な行為なのだからあたたかい心があたたかい行為になりやさしい思いがやさしい行為になるとき〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きるそれは人が人として生きることだ宮澤章二という詩人が書いた「行為の意味」という詩である。ジングルベルという歌がある。この歌の歌詞を作った人である。大会の成否は、懇親会にある！と喝破された方がいる。オホーツク支部のこの懇親会に込めた心遣いが、思いやりが、どれだけ皆様に見えるのか不安で一杯である。只今からオホーツク支部が渾身の力を込めた懇親パーティーの開会を宣言する」と歓迎のあいさつを述べた。

岡部康彦理事長が「この料理を見ただけで懇親会は大成功だと思っている。早く蟹を食べたい、違うものも食べたい、網走のすばらしい食材を堪能させていただきたい」とあいさつを述べた。



祝辞を述べる中原章博
網走商工会議所会頭

来賓を代表して、中原章博網走商工会議所会頭から「昨日の記念ゴルフ大会、本日の記念講演会、本大会、式典、エキスカッション、そしてこの懇親会と後は明日のパークゴルフを残すのみとなったが、これまで盛会のうちに本大会が進んでいることを心よりお慶びを申し上げる。今日、全印工

連の水上会長の講演を聞いた。ノートライ、ノーサクセス。変らない方がリスクが大きい。クオリティ、プライスからサービスを深める経営、業態変革のための組織風土の話、企業文化の話等々、僅か1時間の中で経営改善、業態変革、それらへのキーワードが盛りたくさんであった。おそらく会長は経営者であるからこれまで経営のなかで幾多の辛いことがあったと思う。でも私は1時間会長の話をしている姿を見てわくわくされていることを感じた。だからクライアントが増えるのであろうと感じた。本当にすばらしい講演であったと思う。会長は講演の冒頭、話していたが私達業界の人間はこんなに真面目なんだ、今日は土曜日ではないか、土曜日なのに勉強のためこんなに集まっている。これは同感であるし、今回の大会の準備をされている方々のなかにもそれを伺うことができた。

ホームページを見たが、すばらしい案内がされていた。皆様はワンストップサービスに今努力されている。これまでの既存の売上げにちょっとしたプラスの売上げが物凄い経営改善に結びつくわけである。大会長の話の中に今日は250余人の方がお見えと聞いた。これだけでも物凄い経済効果であるが、この後、懇親会で盛り上がって、さらに2次会、3次会と1万円、2万円使うこの効果が網走に絶大であると思うのでどうぞ今夜はよろしくお願ひしたい」と祝辞が述べられた。



乾杯の音頭をとる笠井康弘全国印刷健康保険組合理事長

笠井康弘全国印刷工業健康保険組合理事長が「本日は第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会が格も盛大に執り行われおめでとうございました。また今テーブルを見ると大変な料理で、その後さらに2次会もというお話も出ているようである。皆様方の会社の発展と健康を祝して乾杯の音頭をあげさせていただく」と延べ、オホーツクブルー色の網走ビール（流水ドラフト）で乾杯を行い開宴した。

オホーツクの食材に拘った盛りたくさんのテーブル一杯の料理に加え、山積のカニ、オホーツク海鮮ラーメン、オホーツクザンギ丼、鯨刺身、網走特製アイスクリームとコーナー料理が出され、オホーツクの味覚を満喫し、懇親と親睦を深めた。



クイズ大会を行う坂井浩記念パーティー委員長

アトラクションとして、地元大空町出身の明江三奈の歌謡ショー、坂井浩記念パーティー委員長の進行によるテーブル対応クイズ大会、塚本親記念パーティー副委員長の進行によるジャンケン大会を楽しんだ。

次に、岡部理事長からオホーツク支部に対して感謝状の贈呈が行われたあと、参加者全員で「知床旅情」を合唱した。

飯村俊幸副理事長が、「お腹一杯すばらしい料理をいただいた。楽しい催しの数々を堪能させていただいた。一生忘れられないような懇親会である。今年は3月によもやまさかの大震災



ジャンケン大会を行う塚本親記念パーティー副委員長



中締めを行う飯村俊幸副理事長

に遭遇し、この大会も一時は開催が危ぶまれてたが、何とか今日の開催に漕ぎ着けることができた。関係各位、とりわけ松井支部長はじめオホーツク支部の皆様への尽力の賜と敬意を表すとともに厚く御礼を申し上げる。僅か2日ばかりの時間であったが実に濃密で有意義な時間を過ごさせていただいた。先程松井支部長が詩を朗読され非常に格調高かったので私も格調高くこの会を締めたいと思う。人生は旅に例えられるが人生を最高に旅せよとドイツの哲学者のニーチェがこんなことを言った。『二人以上で一緒にいて同じ体験をして共に感動し泣いたり笑ったりしながら同じ時間を共に生きていくのはすばらしいことだ』二人以上で一緒にとういのは恋人でも家族でも会社でも、少し広げて私ども業界、もっと広げれば社会全体にも当てはまる。私どもは明日からそれぞれの地域に戻りすばらしい印刷という仕事を通して社会貢献を続けていくが、どうか皆さん頭の隅にいつも仲間が一緒なんだとそしてお互いに高め合っていくという気持ちを持って日々の商売に励んでいただければこの大会の意義も十分に達成されたのではないかと思う。印刷業界の近未来、本日出席の皆様、何よりも今回の震災で被害に遭われた皆様に平安の日々が一日も早いことを心から強く祈念して一本で締める」と述べ、一本締めで中締めを行い第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会記念パーティー・組合設立70周年記念祝賀会を閉会した。

記念ゴルフ大会

記念ゴルフ大会は、8月5日午後1時30分から網走市内のオホーツクカントリークラブで23人が参加して開催された。

岡部大会長による始球式の後、アウト・イン双方からスタートした。

競技はダブルベリア方式で行われ、優勝はグロス88、ハンデ16.4、ネット71.6の好スコアで

上がった池田哲氏（株サクマ）となった。

また、ベスグロはグロス84で上がった今井昭司氏（大丸藤井株）となった。

表彰式は、午後7時30分から網走市中心街の花のれんに会場を移して行われ、各賞入賞者に豪華賞品が贈られ、オホーツクの料理を堪能し懇親の輪を広げた。

上位入賞者は次のとおり。

優勝 池田 哲（株サクマ／北海道洋紙同業会）

準優勝 岳 隆久（有岳総合製本所／旭川支部）

3位 山口三喜（有日孔社／札幌支部）

4位 斉藤達生（株東和プリント／札幌支部）

5位 小林雅宏（富士フィルムビジネスサブライ株）／北海道印刷機材販売業者懇話会）

6位 角 高紀（東洋印刷株）／十勝支部）

7位 西山恒夫（大輝印刷株）／札幌支部）

8位 今井昭司（大丸藤井株）／北海道洋紙代理店会）



優勝賞品を受ける池田哲氏

9位 岡部信吾（北陽ビジネスフォーム株）／札幌支部）

10位 黒済敏秀（株日栄舎／札幌支部）

記念パークゴルフ大会

記念パークゴルフ大会が、8月7日午前9時から網走市のレイクサイドパークのところで33人が参加して開催された。

日頃から鍛錬している技を競い合い、白熱した競技が行われた。

優勝は、松井弘氏（株北研社・スコア104）に輝いた。

上位入賞者は次のとおり。

優勝 松井 弘（株北研社）

準優勝 向畑政直（株北研社）

1位 芳賀信彰（株小林印刷）

2位 山中定幸（株北海印刷）

3位 松井睦子（株北研社）

4位 長屋憲明（株小林印刷）

5位 石川新一（株北研社）



優勝賞品を受ける松井弘氏

表彰おめでとうございます

北海道印刷工業組合設立70周年記念表彰

北海道印刷工業組合設立70周年記念式典において、長年にわたり本組合ならびに本道中小印刷業の振興・発展に貢献された方々の表彰が行われた。

栄えある表彰を受けられた方々は次のとおり。

経済産業省北海道経済産業局長表彰状

岸 洋 氏

株式会社正文舎前代表取締役 71歳
札幌支部
北海道印刷工業組合副理事長、理事長、顧問
を歴任

北海道知事感謝状

則 末 尚 大 氏

第一印刷株式会社代表取締役 70歳
旭川支部
北海道印刷工業組合理事、常任理事、副理事長
を歴任し、現在は顧問

西 山 恒 夫 氏

大輝印刷株式会社代表取締役 77歳
札幌支部
北海道印刷工業組合理事、常任理事、副理事長
を歴任し、現在は顧問

角 鎮 夫 氏

東洋印刷株式会社代表取締役 73歳
十勝支部
北海道印刷工業組合理事、常任理事、副理事長
を歴任し、現在は顧問

飯 村 俊 幸 氏

飯村印刷株式会社代表取締役 64歳
札幌支部
北海道印刷工業組合理事、常任理事を歴任し、
現在は副理事長

北海道中小企業団体中央会会長表彰状

浅 間 典 泰 氏

あさひ印刷株式会社取締役会長 82歳
苫小牧支部
北海道印刷工業組合理事、常任理事を歴任し、
現在は相談役

吉 田 政 司 氏

北斗印刷株式会社代表取締役 62歳
小樽支部
北海道印刷工業組合理事、常任理事を歴任し、
現在は相談役

全日本印刷工業組合連合会会長表彰状

吉 田 正 治 氏

広小路印刷株式会社代表取締役 75歳
北空知支部
北海道印刷工業組合常任理事を歴任し、現在
は理事・北空知支部長

佐々木 敦 氏

昭和レーベル印刷工業株式会社
代表取締役会長 66歳
札幌支部
北海道印刷工業組合理事を歴任

ご冥福をお祈り申し上げます

北海道印刷工業組合員物故者325人の御霊に謹んでご冥福をお祈りいたします。
(敬称略)

旭川支部

高倉達二 (有)三省堂印刷工業社)、藤田千平 (藤田印刷株)、中村勇 (中村印刷株)、小林繁次 (株)小林)、大澤栄昌 (株)大沢其水堂)、武田信義 (武田印刷所)、小玉寛二 (株)コダマ)、岡本三郎 (岡本印刷所)、湯川初二 (株)名寄印刷所)、田中義人 (田中印刷株)、大滝実 (旭西印刷所)、森本秀雄 (旭川特殊印刷株)、田中平八郎 (田中印刷所)、田村辰雄 (株)総北海)、紺野金次郎 (株)旭明舎印刷所)、嶋村順司 (中央オフセット印刷株)坂野三郎 (坂野印刷株)、成瀬義雄 (有)成瀬印刷)、則末義雄 (第一印刷株)、嶋村寛 (中央オフセット印刷株)、谷川寿恵夫 (谷川印刷株)、小川雅己 (有)幸文堂印刷)、吉田礼三 (有)吉田印刷所)、植平尚元 (植平印刷株)、小林聖一 (北陽印刷株)、藤田豊 (藤田印刷株)、金野幹雄 (東和印刷株)、加藤吉春 (有)かとう印刷)、斎藤敏 (株)あいわプリント)、石田竹造 (旭川印刷工業株)、石田正五 (同)、小川巳登理 (小川印刷株)、鍛冶沢忠夫 (あさひ印刷有)、谷川武夫 (谷川印刷株)、開田次郎 (開田名刺店)、岡崎和広 (有)東洋印刷)、伊林謙左右 (東信印刷株)、大澤俊男 (株)大沢其水堂)、坂野隆雄 (坂野印刷株)、砂田正一 (有)すなだ製本)、中野博雄 (大和印刷株)、小玉繁 (株)コダマ)、坂野和雄 (有)旭川坂野)、植平卓夫 (植平印刷株)、秋山晏輝 (株)秋山印刷)井田義三 (株)井田印刷工房)

小樽支部

吉田精一 (日東印刷株)、米澤正四郎 (米沢印刷紙業株)、島元基 (有)島元印刷)、石井憲太郎 (株)石井印刷)、米澤武 (北海道書籍印刷株)、斎加鶴治 (株)北晃社斎加印刷所)、坂口綾一 (坂口光栄堂名刺店)、石井徳良 (株)石井印刷)、吉田与吉 (北斗印刷株)、中村三郎 (有)サンロー美術印刷所)、西村直喜 (三友印刷株)、藤野幹久 (藤野印刷株)、角栄 (株)角印刷所)、久留宮新十郎 (有)商工社久留宮印刷)、島元栄 (有)島元宏栄堂印刷)、高間英之 (高間三陽堂印刷所)、

桑山喜好 (有)桑山其水堂印刷所)、吉田政央 (北斗印刷株)、島元宏知 (有)島元宏栄堂印刷)、栗谷義夫 (有)栗谷印刷)、米澤忠師 (米沢印刷紙業株)、久留宮新也 (有)商工社久留宮印刷)、竹沢光雄 (竹沢印刷株)、石井由利子 (株)石井印刷)

オホーツク支部

横田春海 (横田印刷株)、新沼文治郎 (株)新沼印刷)、羽柴定男 (有)羽柴印刷)、小川文雄 (株)ソーゴー)、信太利之 (留辺蘂印刷株)、名取今朝次郎 (丸瀬布印刷所)、多田久 (株)北海印刷)、須摩彦治 (須摩印刷株)、八島武 (八島印刷所)、中島松次郎 (道東印刷株)、松井幸義 (株)北研社)、三浦福蔵 (有)斜里印刷)、星武雄 (星印刷工業株)、伊藤嘉章 (丸瀬布印刷所)、原田則良 (有)常呂印刷)、藤澤和光 (株)北海印刷)、竹川孝明 (竹川印刷所)、山中雅一 (紋別印刷有)、石井忠夫 (株)石井印刷)、小林敏雄 (株)サン印刷)、信太俊雄 (留辺蘂印刷株)、本間秀雄 (本間印刷株)井上恵二 (株)岡田印刷)

北空知支部

杉本計三 (奈井江印刷株)、吉田儀作 (広小路印刷株)、松本達雄 (松本印刷株)、岡本充 (奈井江印刷株)、松本義郎 (松本印刷株)、太田正晴 (株)太田商店)、西出喜一 (株)光文堂)、定田外治 (株)定田印刷所)、宮下政吉 (共和印刷株)、松本佳巳 (松本印刷株)

札幌支部

山中国松 (有)文栄堂印刷所)、山中サツ (同)、岩橋周作 (岩橋印刷株)、山中次郎 (有)文栄堂印刷所)、長谷川伊助 (陽明堂印刷)、中西慎吾 (中西印刷株)、井上三郎 (丸文印刷株)、岩橋周作 (弘政) (岩橋印刷株)、三田徳太郎 (興国印刷株)、猪野田積 (札幌印刷株)、中西吉之助 (中西印刷株)、飯村昌弘 (飯村印刷株)、河村康夫 (藤樹堂印刷株)、林下忠三 (興文舎印刷株)、片柳丹次郎 (明文堂印刷株)、堂田久次郎 (三和印刷株)、須田勝 (株)須田製版)、山藤國八 (山藤印刷株)、渡辺茂 (東洋平版印刷有)、金井恒

喜(其水堂金井印刷(株))、安藤勇逸(札幌印刷(株))、渡辺豊吉(上野印刷(株))、林下茂(緑特殊カーボン印刷(株))、田上武次郎(田上印刷(株))、竹内彌平(竹内印刷工業(株))、本間政太郎(株本間印刷)、辻博通(北辰堂辻印刷)、花見孫六(有ハナミ印刷所)、山田甚作(山田印刷(株))、深宮友仁(北海道印刷工業組合)、磯田昭(有酒井印刷所)、本間次郎(札幌大同印刷(株))、岸孝一(正文舎印刷(株))、今野秀夫(株北海道機関紙印刷所)、山中キヨ(有文栄堂印刷所)、石川正(三陽印刷(株))、百島幸太郎(株共栄社印刷所)、福士隆之(福士印刷(株))、野崎三郎(三元社印刷(株))、佐藤功(佐藤印刷(株))、辻博基(北辰堂辻印刷)、藤田正重(株藤田印刷)、黒濟喜蔵(株日榮舎)、松村定治(松村印刷(株))、矢原寅蔵(有矢原印刷所)、加藤博(興国印刷(株))、小田健治(協進印刷(株))、川越義勝(川越製袋(株))、半田重雄(有丸共印刷所)、堂田キク(三和印刷(株))、宮永勝治(宮永総合印刷)、松田七太郎(有白旺舎松田印刷所)、三浦仁郎(三浦印刷(株))、川井慶伍(三和印刷(株))、岩館光男(岩館印刷(株))、矢部一彦(三協印刷(株))、加藤志朗(有加藤印刷)、佐々木長一(東北紙工(株))、畑義次(株畑印刷所)、喜来清隆(喜来印刷(株))、石川清(札幌三光印刷(株))、高道常吉(有高道印刷所)、黒濟光雄(株日榮舎)、和倉匡宏(有和倉名刺店)、大島好雄(株大島印刷所)、佐野法重(三陽印刷(株))、茶碗谷洋(株北海水産新聞社)、安藤博和(北海道交通印刷(株))、本間八重(札幌大同印刷(株))、岩橋達二(岩橋印刷(株))、金野実(株金野写真製版)、福井一雄(福井商会(株))、成瀬富造(株成瀬商会)、古村義明(株フルムラ)、工藤匠(国文社工藤印刷(株))、明峯春(有二葉印刷)、湯本茂(協和印刷(株))、工藤博(株さんけい)、長谷目良一(文光社印刷(株))、三田徳光(興国印刷(株))、金森宗正(有金森印刷所)、高田治郎(株印刷紙工)、鈴木宗太郎(有天使印刷所)、今井吉則(有大北印刷)、寺田俊三(北海道製版(株))、黄田常太郎(有黄田印刷)、山藤邦雄(山藤印刷(株))、岩館フジノ(岩館印刷(株))、中西章一(中西印刷(株))、芝田孝(岩橋印刷(株))、田上敬子(田上印刷(株))、黒濟雄孝(株日榮舎)、谷口武雄(展文社総合印刷(株))、安宅正利(有ハナミ印刷)、湯谷昌巳(道立印刷(株))、山崎利一(株やまざき総合印刷)、村本輝夫(株北海道撮影社)、須田養太郎(大輝印刷(株))

釧根支部

館下佐吾治(株館下印刷所)、藤田晋太郎(藤田印刷(株))、藤田久(同)、今井顕治(太洋印刷(株))、佐藤伊知夫(文洋堂印刷(株))、矢野幹雄(藤田印刷(株))、田畑圭司郎(田畑印刷文具(株))、館下哲夫(株館下印刷所)、米内禎一(米内印刷(株))、佐藤長太郎(有佐藤印刷)、米内富久司(米内印刷(株))、伊貝実(釧路総合印刷(株))、板野茂(有板野印刷)、菊池十一(標津印刷(株))、雨宮好雄(雨宮印刷(株))、木内熊作(木内印刷(有))

十勝支部

佐々木甚蔵(佐々木印刷所)、中田竹次郎(大同出版紙業(株))、中田俊学(同)、喜多儀太郎(帯広第一印刷(株))、本間公朗(有道東カーボン)、吉田忠男(有中央印刷)、伊藤正明(有伊藤印刷)、鈴木繁寿(有十勝印刷)、国井晃充(クニキ高速印刷社)、小原昭夫(有オバラ商会)、池田勇(東洋印刷(株))、深澤知喜(大同出版紙業(株))、南出英治(南出印刷製本所)、西本修(有十勝印刷)、中村隆房(帯広第一印刷(株))、野寺勇二郎(功文社印刷)、高原広(ソーゴ印刷(株))、伊藤哲夫(帯広第一印刷(株))、本田勇(勇昇印刷(有))。野津晃(北洋凸版印刷(株))

苫小牧支部

神保金次(有大洋社神保印刷所)、清水磯松(清文堂印刷(株))、青木集(苫小牧印刷工業(株))、青木薫(清文堂印刷(株))、宮本義勝(有共立印刷所)、名畑健次(ナハタ印刷(株))、相馬軍治(有共立印刷所)、清宮壱男(株清宮)、長谷川富栄(さかえ印刷(株))、山田正喜(北光印刷(株))、大森政代(有ダイシン印刷)

函館支部

庄司保治郎(龍文堂印刷(株))、濱中榮吉(ハコー印刷(株))、川内定治(株川内印刷所)、板垣雄二(株第一印刷)、安達花江(ヤヨイ印刷)、高橋達之助(有北海印刷所)、三塚安次郎(正文堂印刷所)、高橋藤介(東洋印刷(株))、赤穂茂(有東光印刷)、辰巳章一(有長万部新聞社)、沢口小市(沢口印刷所)、吉田清(総合印刷吉田印刷所)、小川荘太郎(有上磯印刷所)、横山栄一(横山印刷所)、阿部サト(阿部総合印刷(株))、井上金二郎(有井上製袋)、富樫俊男(有富樫製本所)、五十嵐良雄(有五十嵐印刷所)、庄司正保(龍文堂印刷(株))、清水一二(清水印刷所)、佐藤輝雄(有さとう印刷所)、安田光広(ヤスダ印刷)、島本与蔵(株島本印刷)、五十

嵐清（有五十嵐印刷所）、久保内康助（有久保内印刷所）、山谷三郎（有道活印刷）、辻安太郎（辻商事株）、渋谷康司（有渋谷印刷所）、辻清一（辻商事株）、岩山武彦（株大栄印刷）、鈴木明（ハコー印刷株）、長門一也（株長門出版社）

南空知支部

岸山伊作（岸山印刷株）、吉村甚作（空知印刷株）、小島清（中央印刷株）、藤井政太郎（有藤井印刷）、小西米作（白楊印刷株）、中野敬太郎（株組合印刷）、朝山一正（空知印刷株）、土屋豊（土屋印刷）、岸山アキヲ（岸山印刷株）、山口宏道（株松栄堂山口印刷）、小西迪夫（白楊印刷株）、岸山皓次（岸山印刷株）、小川孝成（株組合印刷）

室蘭支部

幸松健（室蘭印刷株）、青柳富士彦（株文成堂富士印刷）、辻安太郎（株辻印刷）、水沢栄一（有啓明社水沢印刷所）、徳永栄（北海印刷株）、成田穂（株成田印刷）、辻平（株辻印刷）、青柳

キツエ（株文成堂富士印刷）、寄木博男（株不二プリント印刷所）、佐藤光雄（株日光印刷）、小野信広（有昭和印刷）、村上豊三郎（有村上印刷）、徳永晋司（北海印刷株）、三本松治（有ミツモト印刷）、高本直次（富士印刷株）、信田誠一（信田金星堂印刷所）、村井良夫（有室蘭ピーアール印刷）、寄木清二（株不二プリント印刷所）

稚内支部

高木省三（稚内印刷株）、上田実（上田印刷株）、犬石京一（有犬石印刷）、大久保正男（株共同印刷所）、西川常雄（西川印刷）、柴田信一（株そうやプリント）、柴田三男（同）

元留萌支部

金子長次（金子印刷所）、越田彦七（増毛印刷所）、鈴木松雄（白鷗印刷株）、原田外吉（株留萌新聞社）、原田井二（同）、金子キミ子（株サン自動プリンター）、越田實（増毛印刷所）

第29回 北海道情報・印刷文化典オホーツク大会

北海道印刷工業組合は、第29回北海道情報・印刷文化典オホーツク大会において、東日本大震災による被災者の復興支援の一助として、「Print Next Troops」の展開するプリントメディアによる長期的復興支援「ACT FOR JAPAN PROJECT～希望の未来～」に協賛しました。

「ACT FOR JAPAN PROJECT」は本紙662号既報。



購入方法については、「Print Next Troops」公式サイトに掲載

www.printnext-troops.jp/

「印刷産業経営羅針盤セミナー」のご案内

全印工連では、昨年度から株タナベ経営の協力を得て、しあわせな会社経営と売上高経常利益率プラス5%を目指す「印刷産業経営羅針盤」事業に取り組んでいる。

「印刷産業経営羅針盤」は、会社の規模や事業内容に関わらず、すべての経営者の方々が今日から学び、経営に役立てることができるよう、平易な表現で、経営革新に至るポイントを過不足なく取り入れている。

北海道印刷工業組合では、この事業をより深く理解してもらうため、「印刷産業経営羅針盤セミナー」を開催する。

記

1. 日 時 平成23年10月7日(金)
午後3時30分～午後5時30分
2. 会 場 かでる2・7 「730研修室」
(札幌市中央区北2条西7丁目 電話011-204-5100)
3. 概 要 市場規模の縮小と景気低迷の長期化によって、印刷産業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。このセミナーでは、どのような経営革新に取り組むべきか、戦略着眼と実行策について解説する。

4. 主な内容
 - (1)印刷産業経営革新のポイント
厳しい環境の中で勝ち残るためにはどのような経営革新に取り組むべきか、そのための戦略着眼と実行策を解説する。
 - (2)売上高経常利益率プラス5%の経営ノウハウ
確実に成果を上げる「印刷産業経営ドック」手法を説明する。事実をあるがままに捉え、自社のおかれた状況を総点検し、今後実施すべきことの優先順位を明確にする手法を説明する。
 - (3)経営革新のための3つの視点
経営を革新するための3つの視点(事業戦略・収益構造・マネジメント)を解説する。
5. 講 師 株式会社タナベ経営 東京本部
部長代理 印刷業経営革新チーム
岡田 泰範氏
6. 受講料 無料
7. テキスト代 2,500円

第5回MUDコンペ

9月末まで募集延長

経済産業大臣賞を新設

全日本印刷工業組合連合会が主催する「第5回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」の募集期間が9月30日まで再延長された。今回から最優秀作品に対して「経済産業大臣賞」の授与が決まっており、運営方法が変更されたため。

これに伴い、本審査会は10月13日、審査結果発表日は10月20日(入選者のみに通知書を送付)、表彰式は11月22日午後2時から日本印刷会館2階会議室で行われることになった。

【授与賞】

▷一般の部

経済産業大臣賞 表彰状と賞金20万円/優秀賞 表彰状と賞金5万円/佳作 表彰状と賞金1万円

▷学生の部

経済産業大臣賞 表彰状と図書カード3万円分/優秀賞 表彰状と図書カード1万円分/佳作 表彰状と図書カード3千円分

第29回

北海道情報・印刷文化典 オホーツク大会



網走監獄ツアー



盛り上がった記念パーティー



感謝状を受けるオホーツク支部の皆さん
オホーツク支部実行委員の皆さん



3年後は札幌で会いましょう



オホーツク支部
印刷工業局

印刷
e.jp/hks132/

2011 &
会場 網走
オホ